

平成28年度 学校だより



平成29年1月23日(月)
御前崎市立第一小学校

学校教育目標

花いっぱい 自分 友だち 御一小

No. 11

E-mail:

onichi@ed.city.omaezaki.shizuoka.jp

お年玉で子育て

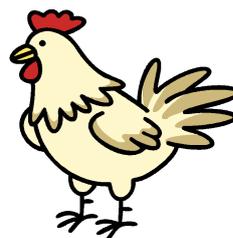
平成29年のお正月は温かな日で、落ち着いた新年を迎えることができました。子どもたちのお正月の楽しみと言えば、なんと言っても「お年玉」でしょう。お年玉は、目上の者が目下の者に金銭を与える習慣です。中国では、年始に大人が子どもに金銭を与えることで子どもを襲う祟りが抑えられ、その1年を平穏無事に過ごすことができるという意味もあります。

さて、このお年玉ですが、意外と子育てには重要なんです。ただ、お年玉を与え、子ども任せにしていることはありませんか。お年玉には、大きく分けて二つの意味があると考えています。1つ目は「礼儀」を育てるための方法として、2つ目は「金銭教育」の方法としてです。

まず、1つ目の「礼儀」を教えるお年玉です。新年のあいさつをし、親戚の方々からお年玉をいただきます。いただいたお年玉を子どもたちはどのように受け取っていましたか。片手で受け取る、両手で受け取る、片手で受け取り頭を下げる、両手で受け取って頭を下げる、お礼を言って両手で受け取り頭を下げる等々様々であったらと思います。そこには日頃の家庭の空気が感じられます。お年玉をあげた方が気持ちのいいお礼だと感じたかどうかの方が大事です。ましてや、いただいたお年玉が多いか少ないか言うようでは、あげた方は気分を害してしまうでしょう。

2つ目は金銭教育を教えるお年玉です。いただいたお年玉を子どもたちにどう扱わせるかです。大切なお金ですから、キチンと使い道を考えるように仕向けましょう。いただいたお年玉を、自分が今欲しいものと自分の将来のために貯金しておくものに分けるのです。子ども任せにすると、将来の自分のための貯金などは考えません。将来自分が成長していくのにどんな時にどんなお金が必要になるのかを考え、素敵な自分の夢を叶えるために使うのです。

このようにお年玉をきちんと捉えることで、子育てのチャンスとなるのです。皆さんの日々の生活の中にもきちんと捉え直すことによって、子育てチャンスがいっぱいありそうですね。



(文責：竹原一人)